



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2019.7月号

2019年度夏期特別展



令和元年 7月20日(土) ~ 9月29日(日)

日本の社会が人口減少の時代に入り、「地方創生」や「地域の活性化」、「まちおこし」や「まちづくり」などのテーマが活発に議論されています。これらに対して、様々な取り組みを推進していく原動力となるのは、「地域」への住民の意識にほかなりません。その意識の基礎となるのが「我が町の知識」です。

本特別展では、平塚市域に関する様々な知識や話題の蓄積を「平塚学」と名付け、総合博物館の特性を活かした自然と人文の各領域の視点から紹介します。

特別展展示解説

日時：(1)7月27日(土) (2)8月25日(日) (3)9月22日(日)

各回午前10時~10時50分

場所：特別展示室

参加：自由・無料

## 夏期特別展関連イベント

**平塚学フォーラム** — それぞれのテーマについて、学芸員同士が話し合います —

第1回「暮らしと自然」歴史学 vs 民俗学 vs 生物学 ～平塚の自然や環境をどのように暮らしに生かしてきたか～

第2回「大地と人」地質学 vs 天文学 vs 考古学 ～地球規模の環境変動と平塚～

日時：第1回 8月10日(土) 午後1時～午後3時

場所：講堂

第2回 8月17日(土) 午後1時～午後3時

定員：50名(先着順)

参加：自由・無料

**平塚学夜話** — 開館時間を延長し、各専門分野の学芸員が講演を行います —

日時：8月6日(火)～11日(日) 午後6時～午後7時 参加：自由・無料 場所：講堂 定員：50名

6日(火)(考古)「卑弥呼の鏡と真土大塚山古墳」 9日(金)(歴史)「証言に見る平塚空襲」

7日(水)(天文)「星座絵タイルを訪ねて」 10日(土)(民俗)「先祖と心通わす平塚のお盆」

8日(木)(地質)「お墓の石の科学」 11日(日)(生物)「身近な植物観察入門」

## 寄贈品コーナー「平塚空襲展」

会期：7月13日(土)～8月18日(日)

昭和20(1945)年7月16日午後11時30分ころから約100分間、平塚市はB29爆撃機133機による空襲にさらされました。この空襲による被害は平塚市のみならず、茅ヶ崎市・大磯町・二宮町・小田原市にも及び、328名以上の方が亡くなりました。

本展示では、被災直後の平塚市のまちの様子を写した米軍撮影の写真や、空襲体験者自身による空襲体験絵画、平塚に投下された焼夷弾などを展示いたします。平塚空襲は風化させてはならないまちの記憶です。

本展示を戦争と平和を考えるきっかけにいただければ幸いです。



空襲直後の平塚市内

## 情報コーナー「アポロ50年と月の科学」

会期：7月13日(土)～9月1日(日)

1969年7月20日17時21分50秒(世界時)、アメリカのアポロ11号の月着陸船「イーグル」が「静かの海」に着陸しました。その後、N.アームストロング船長が最初の一步を月面へと記しました。人類が初めて地球以外の天体に降り立ったそのときから今年で半世紀……本展では当時の記録やアポロ計画の概略を振り返りながら、月のキホンや最新の月の科学について紹介します。



月面に立つ星条旗とオールドリン飛行士

プラネタリウム一般向け投影

# アポロ50年 ~宇宙開発の現場を 語られた名(迷)言たち~



人類3番目に月面に足跡を印した  
アポロ12号のピート・コンラッド宇宙飛行士の言葉

1957年10月、ソ連が人類初の人工衛星を打ち上げ、宇宙開発競争の幕が切って落とされました。リードを続けるソ連をに追いつこうと、アメリカはアポロ計画を立ち上げ、見事月への切符を獲得しました。

月を目指したのは宇宙飛行士だけではありません。アポロ計画には実に40万人もの人が関わり、宇宙開発の現場では様々な言葉が交わされました。それは決して素晴らしい名言だけではなく、ユニークなジョークも含まれていました。そのほんの一部をご紹介します。

- 投影日：7月20日(土)から9月1日(日)までの水・木・土・日曜日
- 午前11時(8月の第2第4土曜日を除く)、午後2時から(約50分間)
- 観覧料：200円 (18歳未満・65歳以上無料)
- 定員：70名

## プラネタリウム特別投影 館長の星空解説(夏)

### 星座を歩こう☆ // 商店街の星座絵の謎を解く



七夕まつり会場のパールロードや銀座通りの足下には、陶板タイルの星座絵が埋め込まれています。ところ中には、ちょっと変なものや、謎めいた星座絵…。

さらに、この配置には壮大な構想が潜んでいました。これぞ駅周辺商店街の「何これ」。当時、星座絵資料を提供した担当者(現館長)が秘密を語ります。

夏休みの研究テーマに最適…かも。

- 日時：7月13日(土) 15時30分(所要60分)
- 解説：澤村泰彦(当館館長)
- 観覧料：200円 (18歳未満・65歳以上無料)
- 定員：70名



博物館・美術館・図書館

## 3館コラボ

会期：7月20日(土)～8月31日(土)

夏休み恒例の博物館・美術館・中央図書館のコラボレーション。今年のテーマは「平塚の人と自然」です。

この期間、テーマに関係するクロスワードパズルが楽しめます。博物館・美術館・中央図書館にあるヒントを頼りに解きましょう。3館まわって目指せコンプリート!

期間内のコラボ関連展示：

博物館 夏期特別展「平塚学入門」P1参照

美術館 所蔵品展「鳥海青児とその時代」～9月23日(月・祝)

中央図書館 特集展示「平塚に関する本 人と自然を中心に」  
～8月31日(土)

平塚のこと、もっと学んでみませんか?



平塚市民の鳥 しらさぎ(コサギ)  
足が黄色いのが特徴(岡根武彦氏撮影)

Table with columns for date, day of week, event name, location, and special notes. Includes events like '展示解説ボランティアの会' and '星空散歩'.

Table with columns for date, day of week, event name, location, and special notes. Includes events like '展示解説ボランティアの会' and '星空散歩'.

7月の休館日：1日、8日、16日、22日、29日

7月のプラネタリウム

- 定員：70名 観覧料：200円 (18歳未満・65歳以上無料)
○観覧者全員が揃ってから観覧券をお求めのうえ、投影開始10分前までに3階にお越しください。
○全席自由席です。○投影開始後のご入場・途中退場はできません。
○65歳以上の方は年齢を確認できるものをご用意ください。
☆プラネタリウム一般向け番組「太陽と星の動き」(所要50分)
投影日時：7月14日(日)までの土曜日午後2時と日曜日の午前11時・午後2時
☆プラネタリウム一般向け番組「アポロ50年～宇宙開発の現場で語られた名(迷)言たち～」(所要50分) 3頁参照
投影日時：7月20日(土)～9月1日(日)までの水・木・土・日曜日
午前11時(8月の第2・第4土曜日を除く)、午後2時
☆親子ほしぞらタイム「すいせいゴエモンの冒険」(所要50分)
投影日時：7月13日(土)までの土曜日午前11時の回
☆プラネタリウム特別投影「星空散歩」(所要50分)
投影日時：7月6日(土)午後3時30分
☆プラネタリウム特別投影「館長の星空解説-星座を歩こう★商店街の星座絵の謎を解く」(所要60分) 3頁参照
投影日時：7月13日(土)午後3時30分

☆：プラネタリウム投影日 ○：申込制行事 ◎：参加自由 無印：年間会員制
プ：プラネタリウム一般投影 特：特別展 寄：寄贈品コーナー展示 情：情報コーナー展示

7月の行事

◎天文学入門講座 第4回「月探査の歴史②」
内容：人類が初の月面着陸を果たして半世紀を迎える節目の年に、月を様々な角度から見つめなおします。第4回は、アポロ計画全体を振り返ります。
日時：7月20日(土)午後3時30分～午後5時 ※開場は午後3時15分

7月の展示

- 特別展 (会場：平塚市博物館1階特別展示室)
「平塚学入門」7月20日(土)～9月29日(日) 1頁参照
■寄贈品コーナー展示 (会場：平塚市博物館1階寄贈品コーナー)
「平塚空襲」7月13日(土)～8月18日(日) 2頁参照
■情報コーナー展示 (会場：平塚市博物館2階情報コーナー)
「アポロ50年と月の科学」7月13日(土)～9月1日(日) 2頁参照

あなたと博物館 47巻4号 通巻510号 発行 平塚市博物館 2000

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949 ホームページ http://www.hirahaku.jp/

